安全に関する情報： ペツル社メカニカルプルージック『ジグザグ』

2013年4月15日

2013年4月12日、ペツルはドイツにあるトレーニングセンターで起きた墜落事故の報告を受けました。事故に遭われた方は、高所でペツル製メカニカルプルージック『ジグザグ』を使用していました。最初の報告によると、墜落の原因はロープアタッチメントホールの故障が疑われました。事故に遭われた方は、入院先の病院から4月14日に退院されました。1日も早い回復をお祈りしております。

事故に関する現時点での情報（4月15日現在）：

現時点で、ペツルは以下の情報を得ています：

- 使用されていた『ジグザグ』の写真とそのロープアタッチメントホールの写真
- 事故に遭われた方からの電話での状況説明

この情報から推察されることは以下の通りです：

- ロープの末端のカラビナに、てこの力及び横方向への荷重がかかった可能性がある
- 事故に遭われた方は、急停止を繰り返しながら下降をしていた

ただし、事故の原因をより正確に調査できるようにするため、ペツルは事故に遭われた方と引き続き連絡をとり、まだ不明である以下の情報と使用された器具をできるだけ早く収集するように努めています。

- 事故当時に使用されていたシステム全体の内容
- 『ジグザグ』本体、コネクター2個、ロープ、その他の併用されていた器具

技術上の注意点：

- 『ジグザグ』のデザイン
  - 『ジグザグ』はCE認証を受けたPPE（個人保護用具）です。15kNを超える静荷重に耐えることができます。
  - サイドプレートの素材や求められる条件は、『アイディ』『グリグリ』『リグ』等の類似製品と同じです。
- コネクターの使用について：

  カラビナは常に縦軸方向に荷重がかかるようにしなければなりません。縦軸以外の方向に荷重された場合は：
  - 小さな荷重でも破断することがあります（例：1〜2 kNでゲートが破断）
  - また、てこの力がかかると、非常に大きな負荷がかかることがあります（元の荷重の4〜5倍）
- 補足：

  下降中に急停止すると、3〜4kNの動荷重がかかることがあります。下降中に急停止をしてさらにカラビナに不適切な向きへの荷重がかかると、15kNを超える動荷重が発生し、器具のアタッチメントポイントの最小破断強度を超える可能性があります。

現在行っているテスト

- 本件について現時点で分かっている情報を基に、事故原因を調べるための一連のテストを行っています。これまでに社内で行ったテストでは、10〜15kNの大きな荷重でもこの故障が起こる可能性は確認されていません。現在も様々な状況を想定したテストを繰り返し行っています。

今後の予定と、製品の使用に関する推奨事項

- ペツルは、今回の事故とユーザーの安全を重視し、社内テストの最終的な結果と当社の見解を、2013年4月23日までにウェブサイトに掲載いたします。
- **それまでの間『ジグザグ』を使用していただくことはできますが、必ず取扱説明書に従い、またカラビナが常に縦軸方向に荷重されていることを確認しながら使用してください。**
- また、追加の安全策として、**カラビナを適切な向きに維持するための策を講じることも推奨します。**

留意点：

全ての金属製のPPEに関する注意点です：

- 使用前に以下の確認をする
  - 亀裂がないこと
  - 変形がないこと

  使用を中止すべき『ジグザグ』の例 →

- 使用中はカラビナが常に縦軸方向に荷重されていることを確認する
- システム内の全ての器具の適合性を確認する